

SPORTS LEGACY Report 2024

東京マラソン財団「スポーツレガシー事業」のご報告



Inclusion & Innovation

未来に遺すスポーツを、今つくる。

スポーツを起点として、21世紀の社会に、後世につながる「レガシー」を遺していきたい。そんな想いから「スポーツレガシー事業」は始まりました。

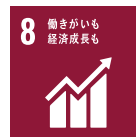
人と人がつながれることのかげがえのなさを誰もが実感している今、スポーツが持つ力に対する期待や関心はこれまで以上に高まっています。

東京マラソン財団は、この事業を通して、すべての人がスポーツを軸とした新しいライフスタイルを享受できる社会の実現と継承を目指します。



スポーツレガシー事業 公式ウェブサイト ▶ <https://www.sportslegacy.jp>

「スポーツレガシー事業」は、国連で採択されたSDGs (持続可能な開発目標) の実現に取り組んでいます。



ご支援ありがとうございます。
2024年度の「スポーツレガシー事業」の活動予定についてご報告します。

東京レガシーハーフマラソン2023チャリティおよび
東京マラソン2024チャリティにてスポーツレガシー事業へ
ご賛同いただいたみなさまからお預かりした

寄付金は**697件、62,040,730円**でした。
多大なるご支援、誠にありがとうございます。

お預かりした寄付金を分配・活用し、2024年度は下記プロジェクトを実施いたします。

2024年度実施予定プロジェクトについて

スポーツの
夢

強化育成



- ダイヤモンドアスリートプログラム
(公益財団法人日本陸上競技連盟)
- デフリンピック開催
(公益財団法人東京都文化スポーツ財団)

スポーツの
礎

環境整備



- グリーンマイルージプログラム

スポーツの
広がり

普及啓発



- 障がい者スポーツ普及事業
(公益社団法人東京都障害者スポーツ協会)
- パラ陸上チャレンジサポート(江戸川区)
- ランニングに関する研究・普及(ランニング学会)
- アスリートの健康問題解決
(公益財団法人日本陸上協連盟、女性アスリート支援委員会)
- ミニ東京マラソン

スポーツの
力

社会貢献



- 東日本大震災被災地の育英事業
- 能登半島地震支援

他、新規プロジェクト(詳細は決まり次第別途公開)にて活用させていただきます。

スポーツの
夢

強化育成

ダイヤモンドアスリートプログラム

ダイヤモンドアスリート (第10期) **6名** 認定

継続



5名

頑張ります!

新たに認定



1名

■第10期ダイヤモンドアスリート



陸上競技を通じて、競技力向上とともに豊かな人間性も育み、国際社会の発展に寄与する人材の育成を目指す「ダイヤモンドアスリート」制度。2014年にスタートし、本年で10期目を迎えました。今期は5名が前年度から継続、1名が新たに認定されました。6名のダイヤモンドアスリートたちが、多彩な国際競技会やプログラムを通し、次世代を担うエリートアスリートへと成長する姿にご期待ください。

写真左から

- ・西 徹朗 選手 (早稲田大 2年: 110mハードル、第8期より認定)
- ・柳田 大輝 選手 (東洋大 2年: 100m、第7期より認定)
- ・澤田 結弥 選手 (浜松市立高3年: 中長距離、第9期より認定)
- ・永原 颯磨 選手 (佐久長聖高3年: 3000m障害、第10期より新規認定)
- ・佐藤 圭汰 選手 (駒澤大2年: 中長距離、第8期より認定)
- ・北田 琉偉 選手 (日本体育大1年: 棒高跳、第9期より認定)

※認定式当時の所属情報です。

新ダイヤモンドアスリートからのメッセージ

2023年は、夏のインターハイで優勝することができました。私は目標として「世界で戦う」を掲げています。そのためにはさらに厳しい大会や環境に打ち勝つことが重要です。ダイヤモンドアスリートに認定いただいたことを最大限に活かし、様々なプログラムを通して競技面でも人間性でも成長し、目標達成に向けて頑張りたいと考えています!

永原颯磨 (佐久長聖高3年: 3000m障害物)

■第1回リーダーシッププログラム



2023年12月6日(水)、ダイヤモンドアスリートに提供される研修プログラムの1つ、国際人の育成を目指して行われる「リーダーシッププログラム」の第1回を実施。第10期ダイヤモンドアスリートと修了生、室伏由佳ダイヤモンドアスリートマネージャーが、男子短距離の飯塚翔太選手(ミズノ)をゲストに迎え、「豊かな人間性を持つ国際人になるとは」をテーマに飯塚選手の豊富な経験をお聞きしました。たくさんの刺激と学びのあった第1回研修は、「僕自身もみなさんから学ぶことがたくさんある。競技場で一緒に頑張っていきましょう」という飯塚選手からの激励で締めくくられました。

■寄付者交流会



第10期ダイヤモンドアスリート認定式では、寄付者の方との交流会も行いました。「ますます陸上が好きになりました。今後も選手のみなさんを応援します!」と好評をいただきました。

■日本陸連 アスレティックス・アワード2023



陸上界に貢献した方々を表彰するアワードに寄付者の方をご招待。式典前には北口榛花選手と柳田大輝選手とともに写真撮影できる機会も!貴重な時間を過ごしていただきました。

■セイコーゴールドングランプリ 陸上2023横浜



関係者しか入れない日産スタジアムのフィールドなどを見学するバックヤードツアーや選手との交流の時間も。今後も寄付者の方をご招待し、様々な特別なプログラムを提供します!

■アスリートの健康問題解決のためのプログラム

全国高校駅伝出場チームに対して血液検査を実施するとともにそのフィードバックを行いました。また、リーフレット「アスリートの健康を守ろう! ~ウェルビーイングのためにできること~」を作成し、最新のアスリートの健康問題に関する情報提供をしました。

スポーツの
広がり

普及啓発

スポーツ大会の支援および普及啓発

教室参加人数

約**400**名

(2023年度開催延べ人数)



■ミニ東京マラソン



2023年11月7日(火)、江東区立豊洲西小学校で「ミニ東京マラソン」を実施しました。東京マラソン財団スポーツレガシー事業のプログラムのひとつで、子どもたちにランニングやスポーツへの関心を高めてもらうための特別授業です。コロナ禍もあり3年半ぶりの開催でしたが、150名の小学5年生が参加。チャリティ・アンバサダーの大島めぐみさんとM高史さんはじめ、アスリートや現役コーチなど講師陣もとても豪華！授業では、財団のコンセプトである「走る喜び(ランナー)、支える誇り(ボランティア&審判)、応援する楽しみ(応援者)」に沿って、子どもたちが東京マラソンを疑似体験！笑顔があふれる学びの多いプログラムとなりました。

■パラ陸上チャレンジサポート



第2回パラ陸上教室 in 国立競技場 (10月15日)



「EDORIKUパラ陸上教室」(5月13日、20日)

2023年5月13日(土)、江戸川区主催で「パラ陸上教室」が行われました。障がいの有無を問わず、スポーツを体験する機会を創出することで魅力を伝え、参加した方がその後も競技を続けられることを目指すイベントです。2023年には関東パラ陸上競技協会の花岡伸和選手(元車いすマラソン選手)を講師に迎え、全5回の教室を実施しました。

「EDORIKUパラ陸上教室」を主催した江戸川区より

年齢も障がいの程度も様々な方が、陸上競技を通じてつながり、成長される様子を見られたことを嬉しく思います。障がいのある方と健常者が同じ空間で競技に取り組める教室が開催できる未来を創りたいと考えています。そのために、より多くの方にご参加いただけるよう、引き続き教室を開催してまいります！

■公益社団法人東京都障害者スポーツ協会

- ・2023年12月10日(日)に「第24回全日本パラ・パワーリフティング選手権大会」の中継放送を行いました。
- ・「2024東京CUP卓球大会」

2024東京CUP卓球大会は、障がいの有無を問わずに、卓球愛好者が大会を通じて、選手相互の交流と親睦を図り、障がいの理解や障がい者の社会参加の促進を目的として開催されました。特に個人戦は、コロナ禍の影響もあり、平成30年度大会以来の実施に。当日は久々の開催にもかかわらず大変な盛況となり、229名の参加者が競技力別に5つのグループに分かれそれぞれ競い合いました！



■ランニング学会



ランニング学会
Society for Running

- ・2023年度ランニング学会認定ランニング指導員養成講習会
 - ・ランニング学研究助成事業の支援
 - ・ランニングに関わるプロジェクト研究への支援
 - ・安全で効果的なランニングについて一般ランナーへの普及活動への支援
 - ・寄付者向けプログラムへの支援
- ランニング学会では上記活動を通し、今後も研究成果を実践に生かし、ランニングの普及・発展に寄与することを目的として活動していきます。

■一般社団法人女性アスリート健康支援委員会



女性アスリート健康支援委員会では女性が安心してスポーツ活動に取り組み、生涯の長きにわたり明るく健康的にスポーツを続けられるように支援することを目的とし、活動のすべてを女性の健康支援につなげていきます。

スポーツの
礎

グリーンマイレージプログラム

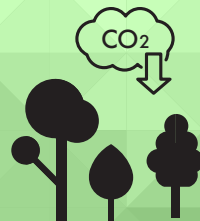
環境整備

グリーンマイレージ

22,419マイル

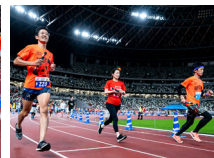
グリーンマイレージ 総額

2,241,900円



マイルージおよび寄付金額を更新!

- RUN with HEART チャリティバーチャルラン
開催日: 2023年3月23日~6月12日 マイルージ数: 1,184 寄付金額: 118,400円
- 葛西臨海公園ナイトハーフマラソン
開催日: 2023年9月8日、10月9日 マイルージ数: 9,213 寄付金額: 921,300円
- TOKYO ナイトリレー
開催日: 2023年10月13日 マイルージ数: 4,001 寄付金額: 400,100円
- 北浜マイル
開催日: 2023年11月12日 マイルージ数: 888 寄付金額: 88,800円
- TOKYO ROKUTAI
開催日: 2023年11月18日~19日 マイルージ数: 7,133 寄付金額: 713,300円



スポーツの
力

東日本大震災被災地の育英事業

社会貢献

育英事業への寄付

5,074,100円

内訳

宮城県 **2,968,576円** 岩手県 **1,560,439円** 福島県 **545,085円**

NEXT VISION

お預かりした寄付金を、東日本大震災の被災地3県の育英事業対象者(未成年)の人数比率により、「いわての学び希望基金」「東日本大震災みやぎ子ども育英募金」「東日本大震災ふくしま子ども寄附金」に分配。困難に直面している被災地の若者や子どもたちの勇気・希望・夢を持つ力をサポートしています。

また2025年度に向け「スポーツレガシー事業3」として「令和6年能登半島地震災害の被災地支援事業」を新設。ランナーや寄付者のみなさまからの応援の気持ちを被災地支援へつなげていきます。集まった寄付金は2024年1月1日(月)に発生した令和6年能登半島地震の災害義援金として、日本赤十字社を通じて被災地の義援金配分委員会へお送りします。



令和6年能登半島地震支援



東京レガシーハーフマラソン2024チャリティ
スポーツレガシー事業-1として、
2024年4月26日(金)～5月24日(金)の期間で
寄付金及びチャリティランナーの募集を行いました。
多大なるご支援ありがとうございました。

東京マラソン2025チャリティとして、
スポーツレガシー事業が設定する寄付金額以上をご寄付いただいた場合
ご希望の方は、チャリティ活動をアピールしていただく
チャリティランナーとして参加いただけます。
応援したい・支えたいと思ったださる方も寄付のみで参加いただけます。

詳しくは下記ウェブサイトをご確認ください。

<https://www.sportslegacy.jp/tokyo-marathon-charity>

スポーツレガシー事業運営委員会からのご挨拶



東京マラソン財団理事長

早野 忠昭 Tadaaki Hayano

東京マラソン財団チャリティで集まった人々の想いを基盤としながら、「みんなの手で創り出し、つないでいくレガシー」というコンセプトを掲げ、「スポーツが後世に遺すもの」つまりスポーツの「レガシー」の創造と継承を東京マラソン財団のミッションとして取り組んでいきます。
東京マラソンらしく、革新的でありながら誰もが参加できるよう、「Innovation & Inclusion」を掲げ、新たな広がりを目指していきたいと思います。
私たちのライフスタイルが豊かで幸せなものになったと実感できるように、ぜひスポーツレガシー事業を応援してください。

寄付のお申込みは、公式ウェブサイトで受け付けています！

スポーツレガシー事業公式ウェブサイトを通じて、
クレジットカードによる寄付を受け付けています。ご支援よろしくお願いたします。



詳しくは
こちらから



寄付や事業についての詳細・お問い合わせはこちらから



● [スポーツレガシー事業公式ウェブサイト](https://www.sportslegacy.jp)
<https://www.sportslegacy.jp>

XやFacebookでも発信中！
「#スポーツレガシー事業」



発行：一般財団法人東京マラソン財団
2024年7月
<https://tokyo42195.org/>

